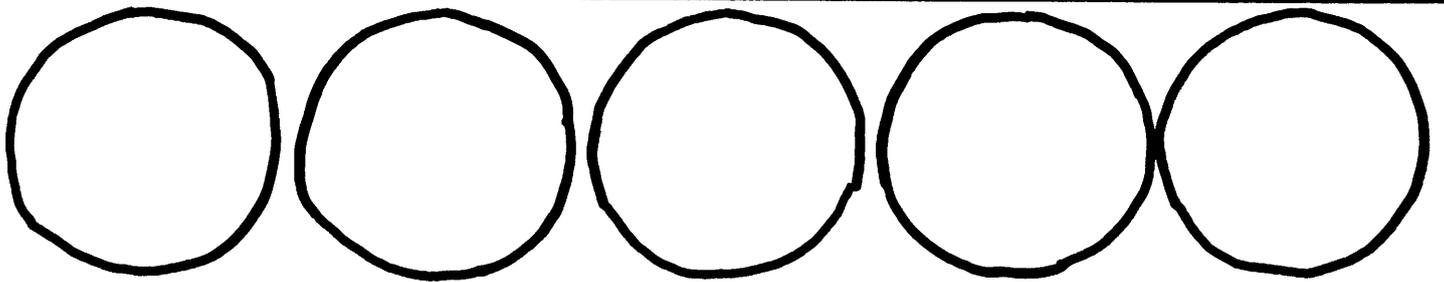
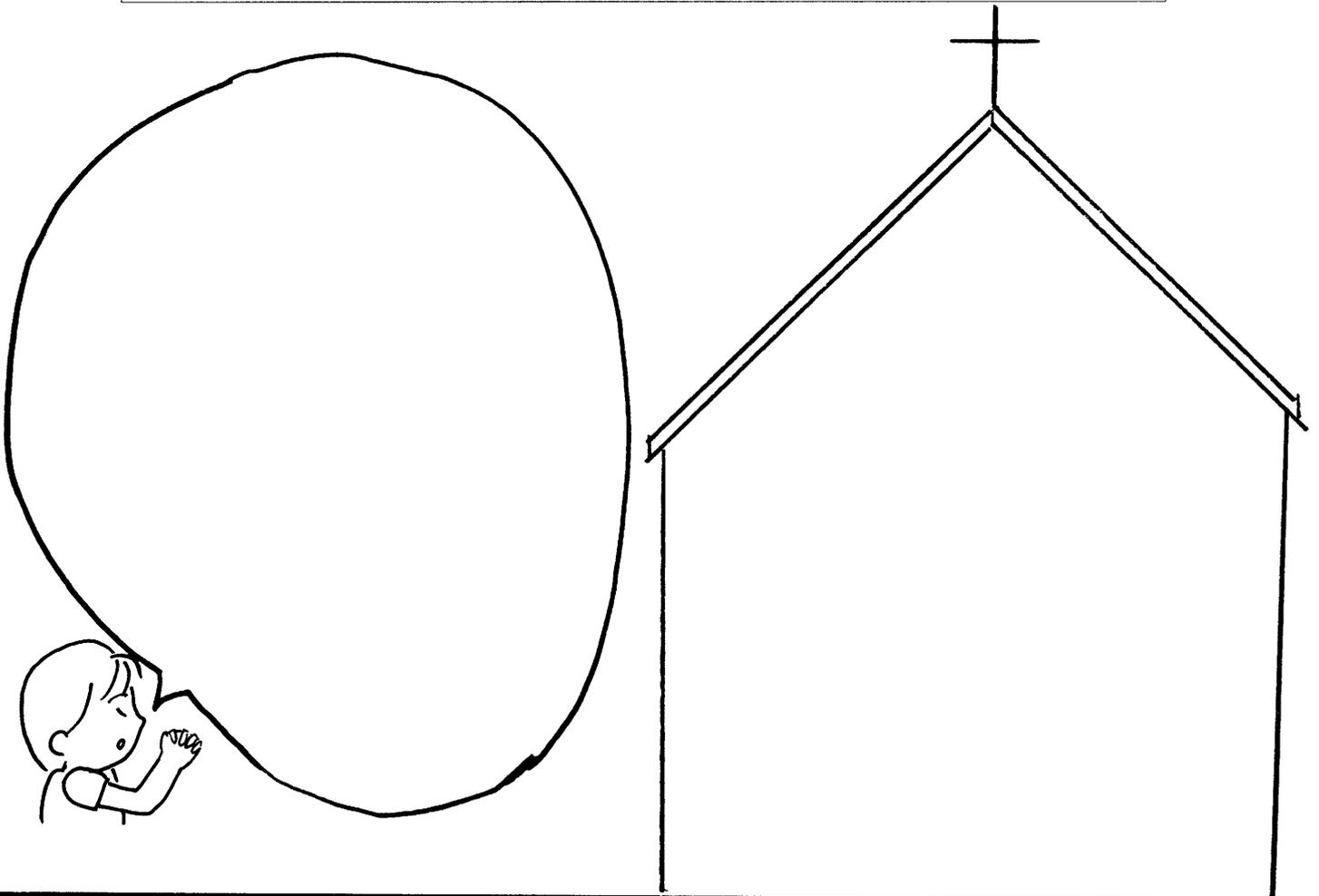


A 2013 7月7日 しんこうによるすくい

しゅイエスをしんじなさい。そうしたら、あなたもあなたのかぞくもすくわれます。

しとぎょうでん16・31



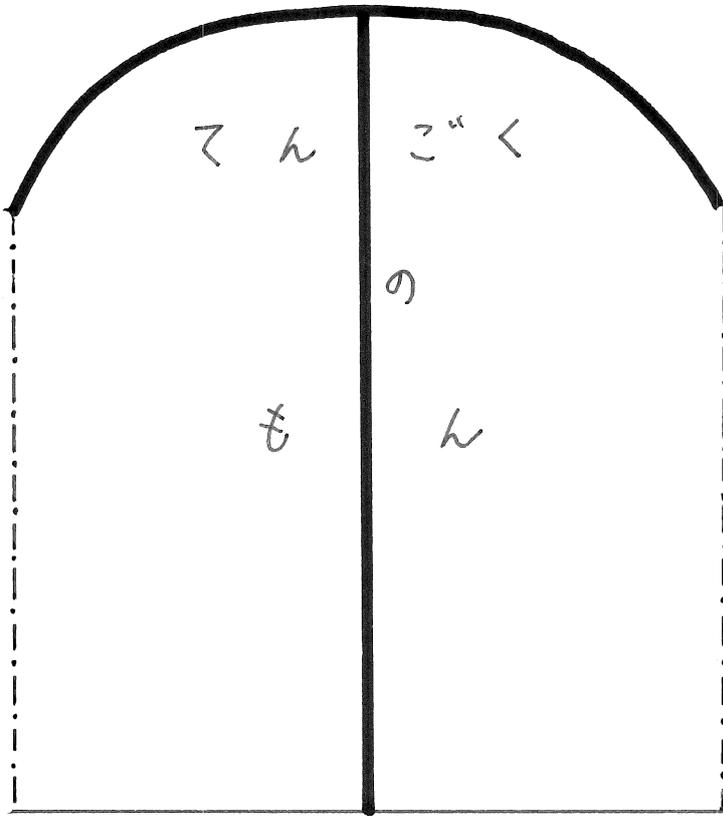
- ① この用紙の中央の太線で切る。
- ② 下の○(5つ)に家族の顔を書く。不足の場合は新しく作ってください。
- ③ 左側の祈っている絵のふき出しには、まだイエス様を信じていない人、教会には信じている人の顔を貼る。
- ④ 信じていない人、教会に来ていない人の為に祈ることを教える。

● 7-7について

私バ イエス様を信じていること。大切であり、まわりの人に救いを届けられることを覚えよう。

A 2013 7月14日 せいなるみやこ

かみのえいこうがみやこをあかるくし、こひつじがみやこのあかりだからである。もくしろく21・23

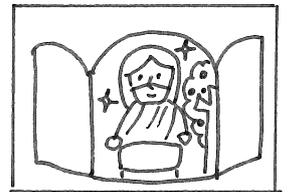


A

- ① A、Bそれぞれに色をぬる。
Bのイエスのまわりの空白の部分に天国のようすを考へて描いてみる。
 - ② A、Bそれぞれを切り取る。
Aの門の部分に切り込みを入れる。
 - ③ AをBの上に重ねて貼る。
- 天国の門を開いて、イエスが天国で待っていてくださることを覚えよう。

B

— 完成図 —



の
り
づ
け

— 切り取り線 —
- - - 谷折り線

の
り
づ
け



の
り
づ
け

A 2013 7月21日 いきてはたらかれるかみ

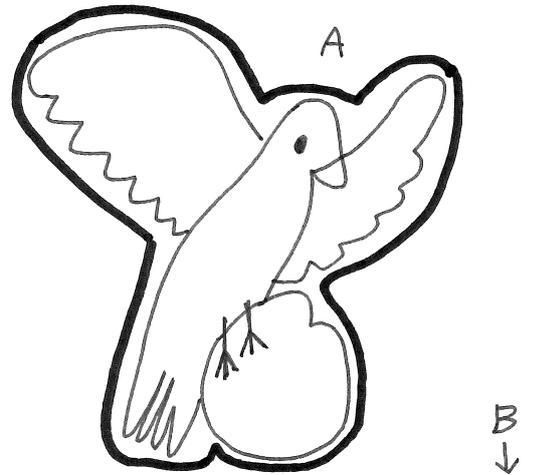
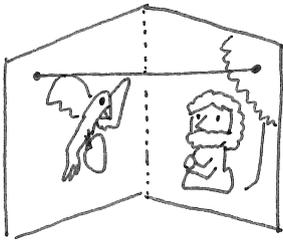
わたしのつかえているイスラエルのかみ、しゅはいきておられます。れつおうじょう17・1

- ① 18cmのひも1本を用意する。
- ② A・Bに色をぬり、切り取る。
- ③ Bを中心に谷折りし、Bの●部にひもの両端をセロテープでとめる。
- ④ Aの羽の部分に、ひもの好きな部分にセロテープでとめる。

—— 切り取り線

- 神様は必要な物を与えて、私たちを養ってくださる方だということをおぼえましょう。

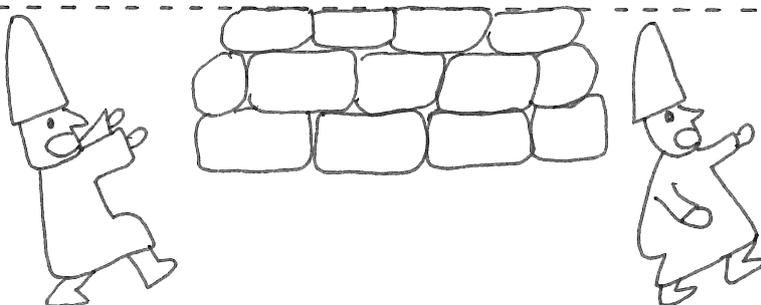
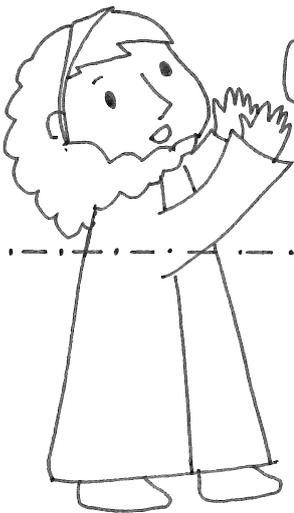
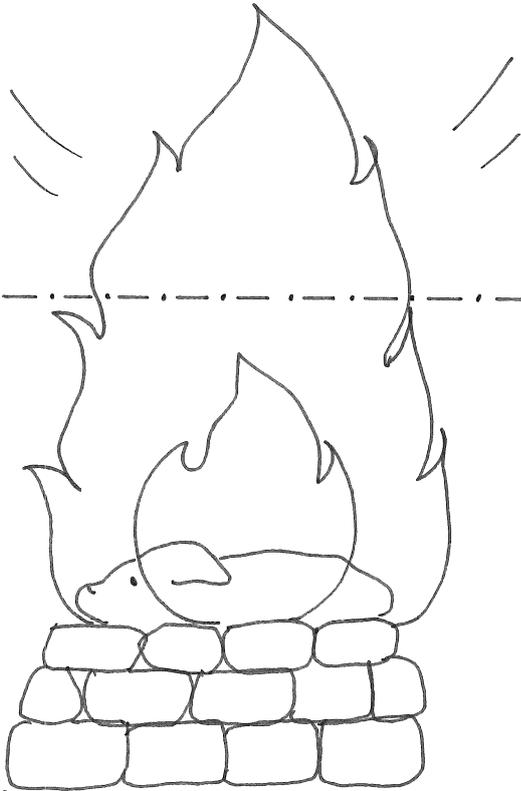
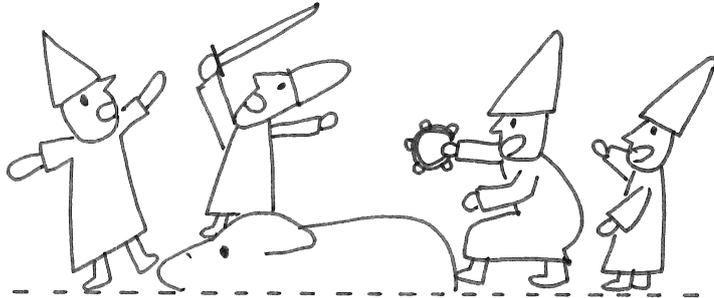
— 完成図 —



しゅはいきておられます。

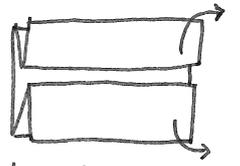


ひをもってこたえるかみをかみとしましょう。れつおうじょう18・24



- ① 色をぬり切り取る。
- ② 山折り線、谷折り線を折る。

- ③ 絵の中心を開いて。



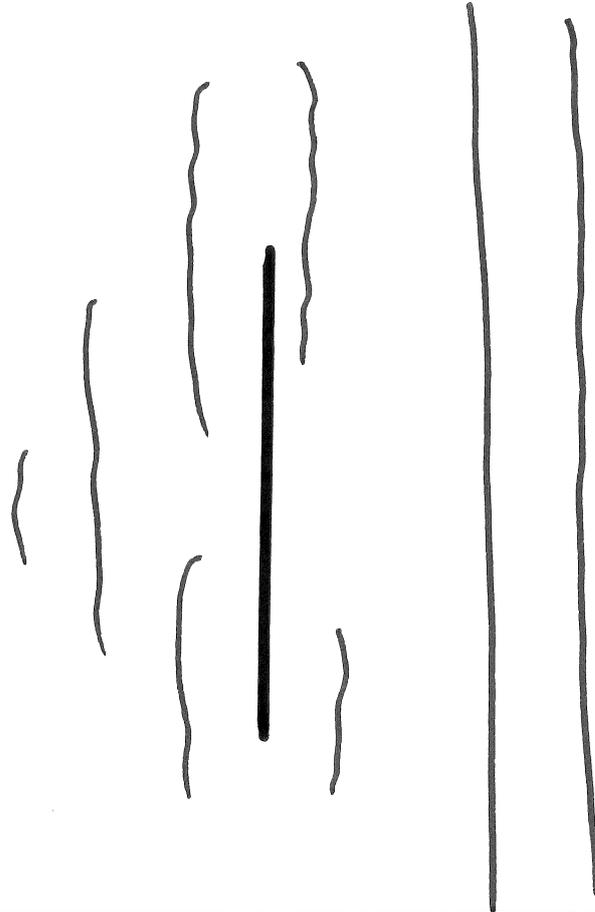
中の絵を確認する。

- 火をもって答えてくださるエリヤの神様が本当の神様であることを覚えましょう。私たちも本気で神様を信じて祈りましょう。

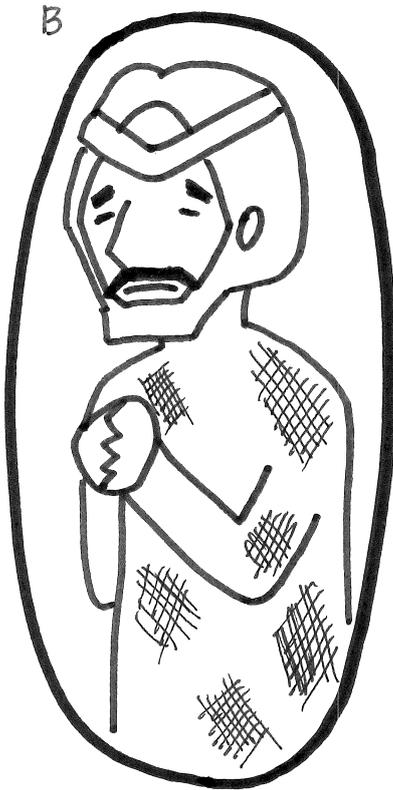
————— 切り取り線

- - - - - 山折り線

- . - . - 谷折り線



A

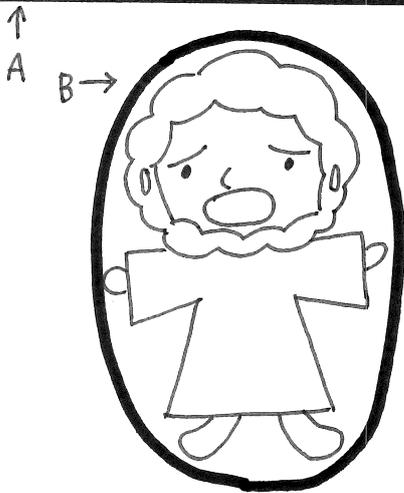


- ① 割りばしを1本用意する。
 - ② A・B・Cにそれぞれ色をぬり、切り取る。Aに切り込みを入れる。
 - ③ BとCの間に割りばしをはさみ、BとCの裏面を貼り合わせてハートを作る。
 - ④ 割りばしの上の部分を持ち、ハートを切り込みの中に差し入れる。ナアマンを7回沈めたら、裏に返して引き上げる。
- ナアマンがずっと小あんでいた病気を、神様がいやしてくださったことを覚えよう。



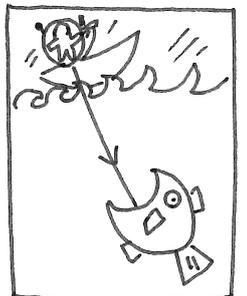
——— 切り取り線

わたしはうみとりくとおつくりになったてんのかみ、しゅをおそれるものです。ヨナ1・9



- ① A・Bに色をぬり切り取る。
- ② Aの左上の・部に穴をあけ、魚の口の部分に切り込みを入れる。
- ③ 40cmのひもを1本用意し、上から20cmのところにBを
は
見張り付ける。
- ④ ひもの上部をAの穴に、下部を魚の口に
差し入れる。
- ⑤ 舟の上から投げ出されたヨナが魚に飲み
込まれたことを覚える。

— 完成図 —

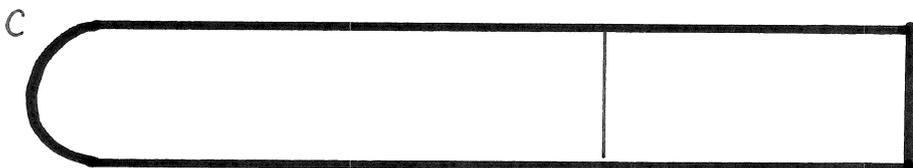
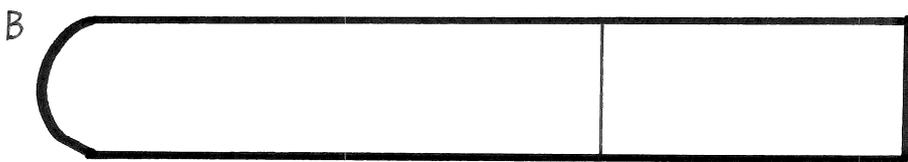
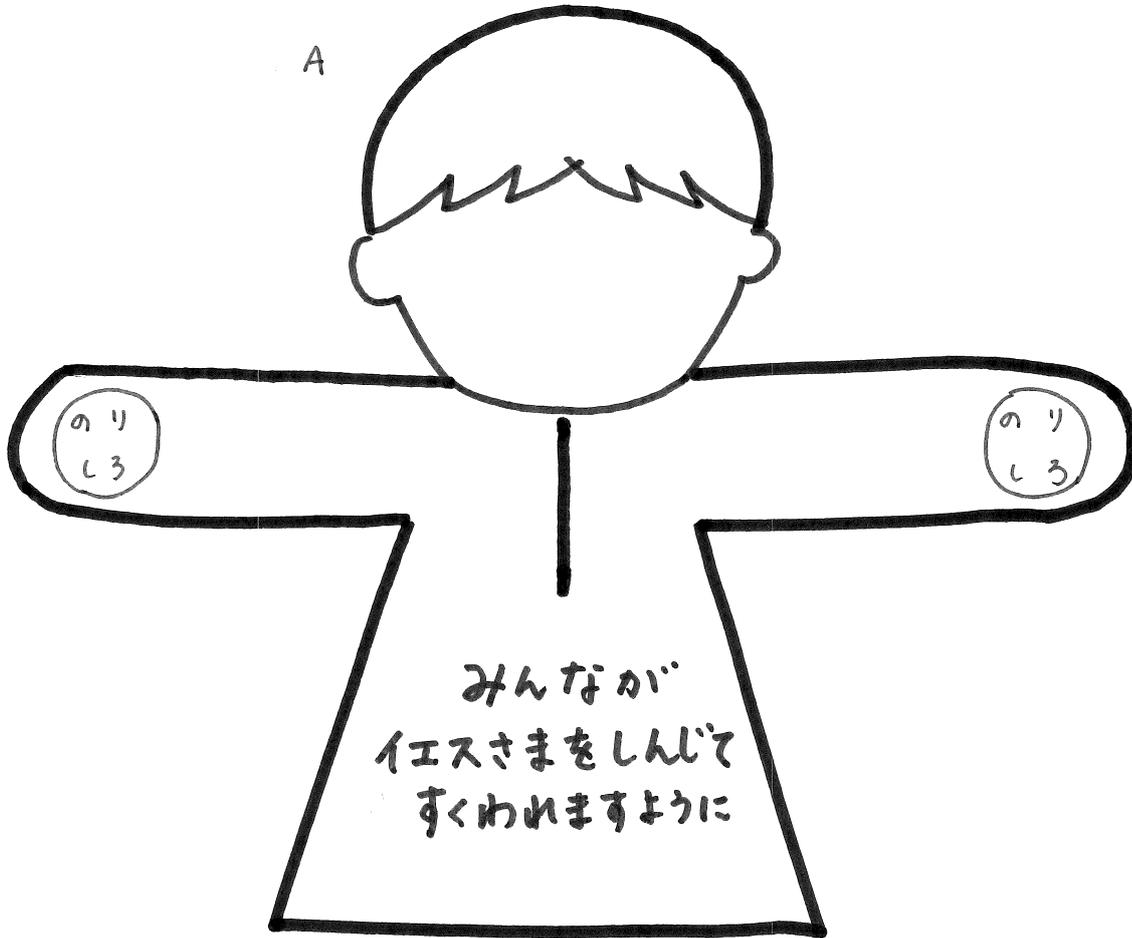


■ 神様は魚によってヨナを助けてくださいましたか？
神様に文句を言わず、素直に従う者になりましょう。

A 2013 8月18日 かみのあわれみによるせんきょう

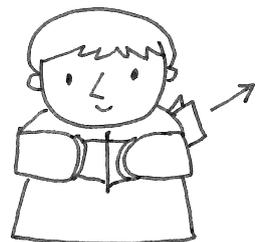
ましてわたしは12まんあまりの、みぎひだりをわきまえないひとびとを、おしまないでいられようか。

ヨナ4・11



—— 切り取り線

—— 完成図 ——



- ① Aに自分の顔・髪の色を描き、色をぬる。
- ② A・B・Cを切り取り、Aの中心部に切り込みを入れる。
- ③ Aののりしろ部分にB・Cを貼り、B・Cの反対側の立端をAの切り込み部分に差し入れる。
- ④ B・Cの立端を重ねてAの裏から引張り、手を重かして祈っているようにする。

■ わたしたちのことはイエ様が守ってください。
心配せずに、みんながイエ様を信じて救われるように祈りましょう。

A 2013 8月25日 かみさまによろこんでいただく！

このように、すべてのただしいことをじょうじゅするのは、われわれにふさわしいことである。

マタイ3・15



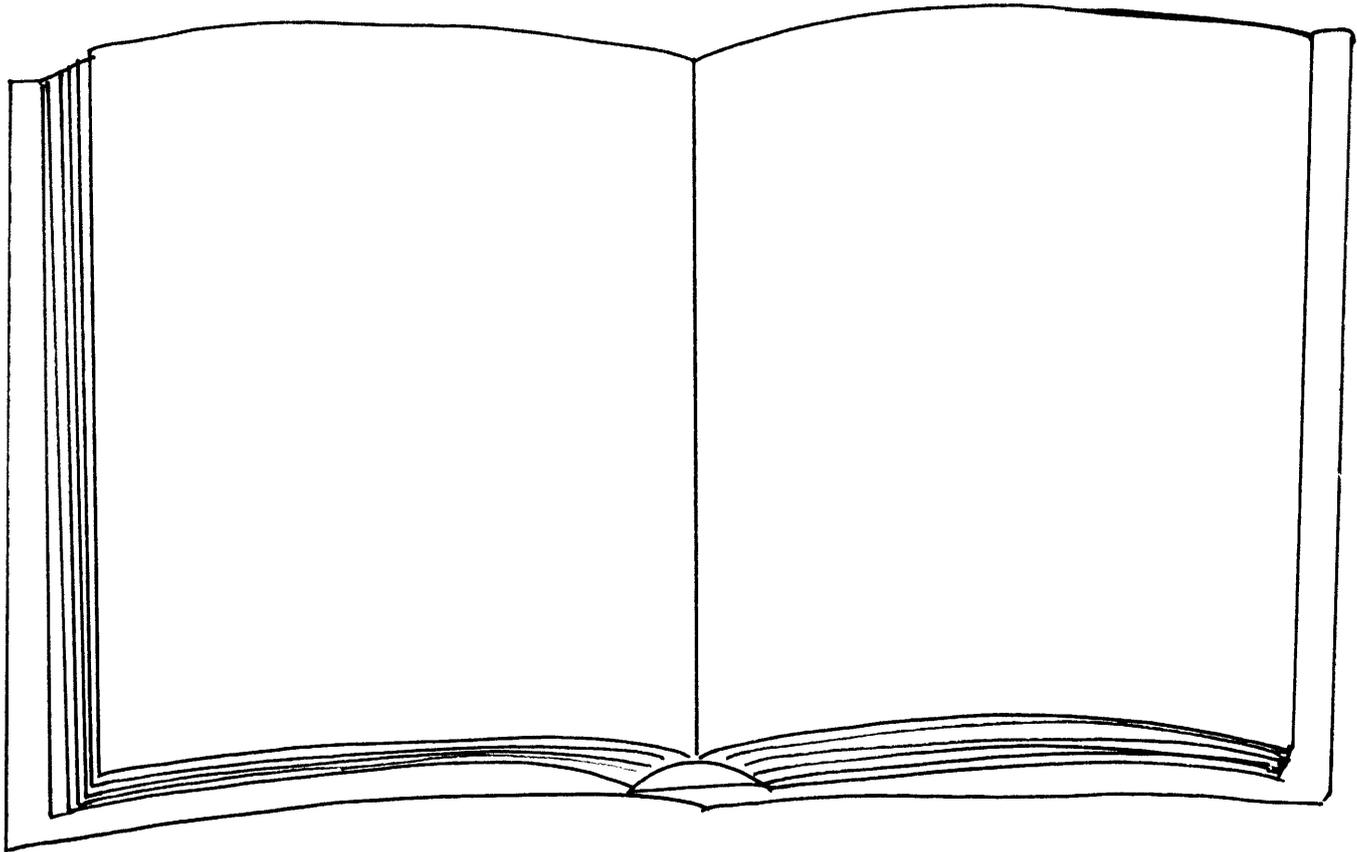
これはわたしの
あいするこゝ
わたしのこゝろに
かなうものである。

- ① イエス様が洗礼を受けた場面をつくりまわす。
 - ② 絵に色を塗る。
 - ③ 下のことばと（よ）のような聖書をとり取る。（よ）はとりだみにこし込み
- 例
-
- ④ 壁かけにしてもよいでしょう。

● 7-9について
イエス様は、洗礼を受ける必要がありませんでした。洗礼を受けられました。神様に喜ばれることを行つたイエス様に学びましょう。

A 2013 9月1日 あなたは、しょうりしゃ！

サタンよ、しりぞけ。『しゅなるあなたのかみをはいし、ただかみにのみつかえよ』とかいてある。
 マタイ4・10



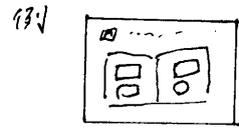
「ひとはパンだけでいきる
 ものではなく、かみのくらから
 ぶるひとつひとつのことばで
 いきる」

「しゅなるあなたの
 かみをこころみては
 たらばい」

「しゅなるあなたのかみを
 はいし、ただかみのみ
 つかえよ」



- ① 太線に沿って切り、
 5・7に分ける。
- ② 4つはしを巻いている
 □とイコ様の○を
 取り取る。色を塗る
 もよい。
- ③ 本に貼って壁かげを
 つくりましょう。



● 7-7について
 聖書の御言葉で悪魔に勝利したイコ様のよに、私たもしかりと御言葉を
 覚えしむ。(自.御言葉に親しみ)

A 2013 9月8日 イエスをたずねたがくしやニコデモ

だれでもあたらしく生まれなければ、かみのくにをみることはできない。 ヨハネ3・3

① A、B、Cを太い線で切る。

② A、Cは色を塗る。

③ 戸のまわりの太い線に印字込みを入れ、戸が開くようにする。

④ Aにのりをつけ、戸を開けたら、イエス様がいらっしゃるようにする。

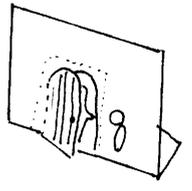
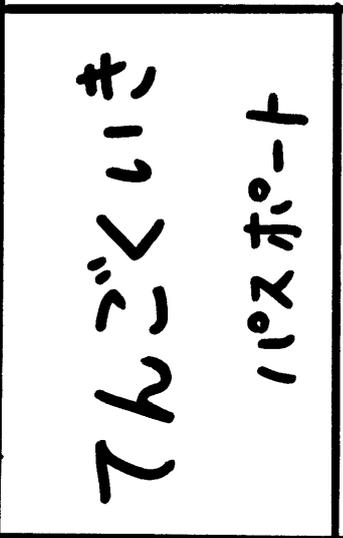
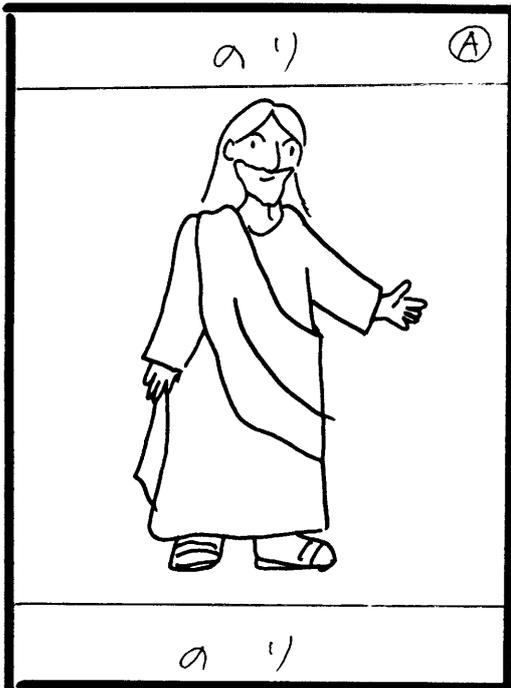
Bの裏でCの裏から見る。一線は山折りにし、このようにする。
(下図)

⑤ Bは天国行きパスポートです。

「あなたも天国に行きたいですか?」と質問し、「行きたい」と言ったら、イエス様信じましょうとパスポートを渡してくださる。

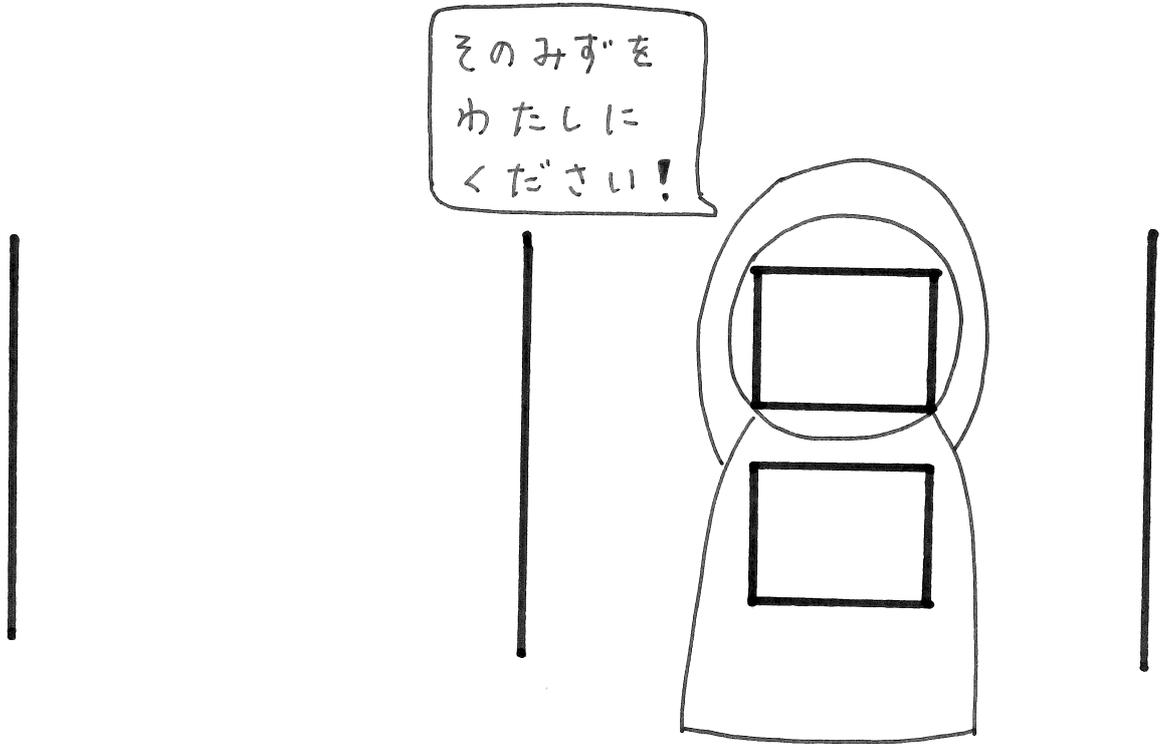
● ワークについて

イエス様を信じることで、天国行きが約束されることを覚えましょう。

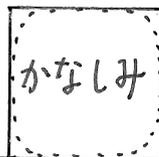
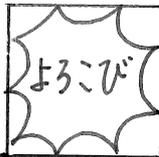
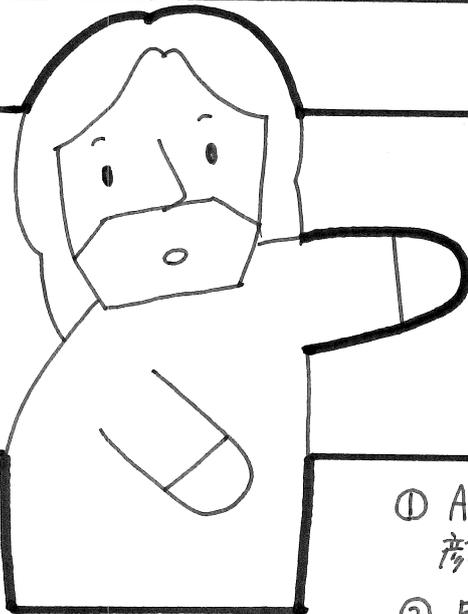


わたしがあたえるみずをのむものは、いつまでも、かわくことがない。ヨハネ4・14

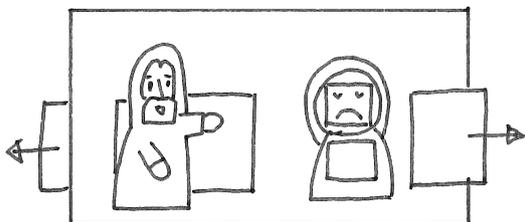
A



B

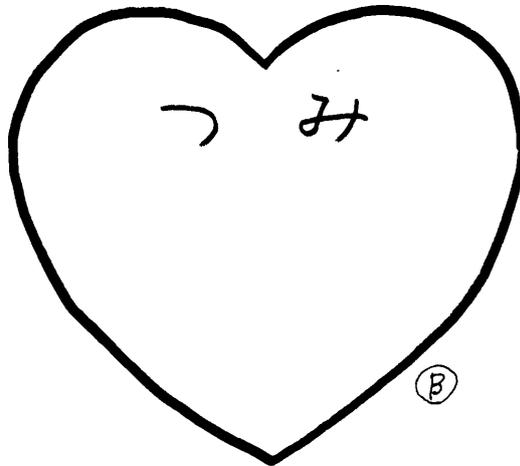
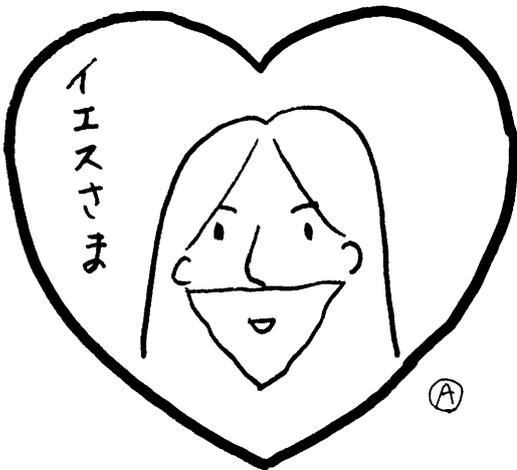
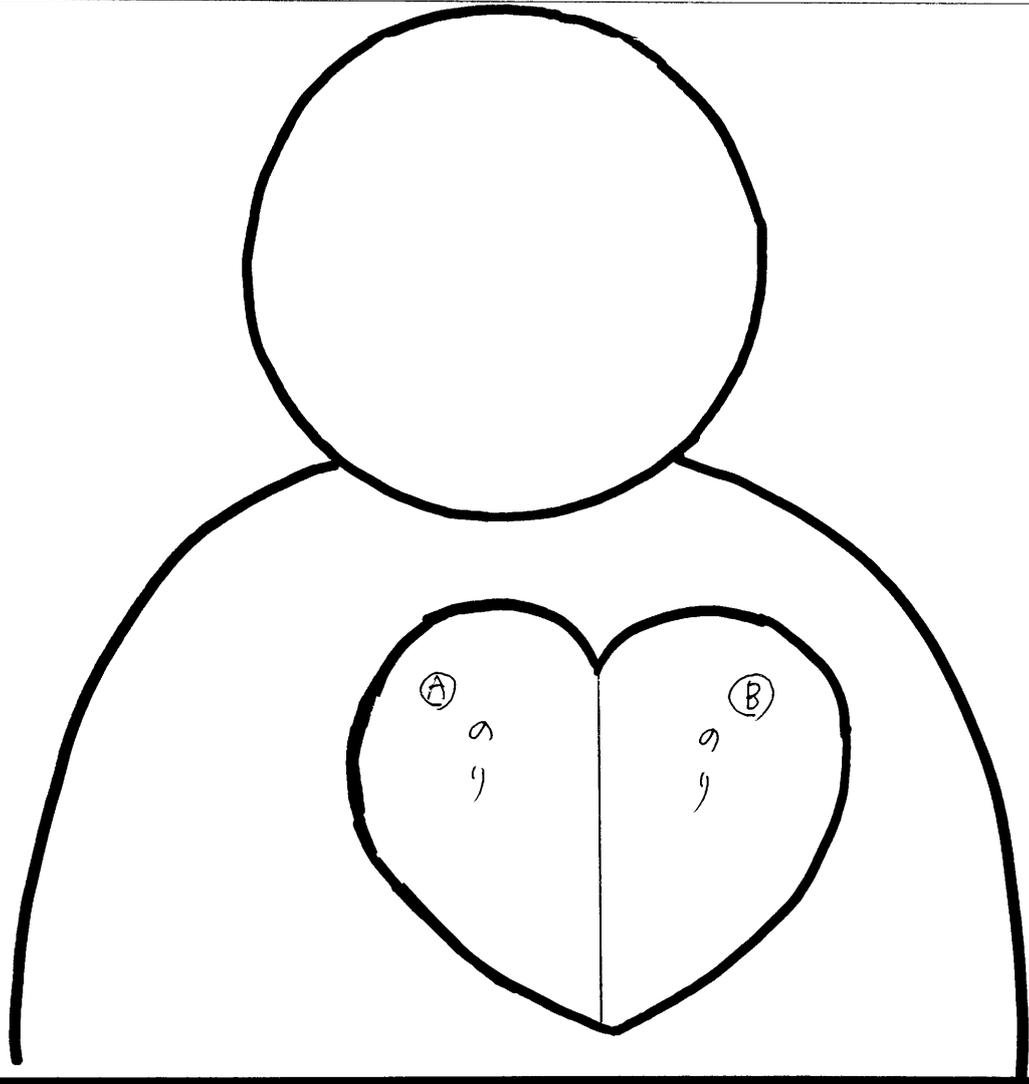


- ① A に色をぬりて切り取り。3か所に切り込みを入れる。顔と胸の部分を取り抜く。
 - ② B に色をぬりて切り取り。イエス様の左手の部分に切り込みを入れる。
 - ③ B を図のようにAの切り込みに差し入れ。右に動かして、イエス様が喜びを与えてくださったことを覚える。
- イエス様を信じる時、イエス様が本当の喜びを与えてくださることを覚えよう。



A 2013 9月22日 あなたはまねかれています！

ときはみちた、かみのくにはちかついた。くいあらためてふくいんをしんぜよ。マルコ1・15



●7-7について
罪の心は汚れているが
イエスを信じると、洗われ
て清くなれることを
覚えよう。もう一枚同じ
ハートを作り、イエスを
信じた後の心は
どうなるか色を塗り
てもらうのをよんで(よう)。

- ① この用紙を上下に切り分けろ。
- ② 上の○に自分の顔を書け。
- ③ 下のハートのイエス様に色を塗り、つみの方には自分の罪を書け。罪ある心は何色か考えてその色を塗り。
- ④ ハートを真ん中で折り、図のように貼る。 (A) は、本体のハート部分に貼る。
(谷折)

A 2013 9月29日 イエスさまにしたがおう

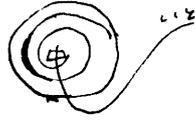
そこでかれらはふねをりくにひきあげ、いっさいをすててイエスにしたがった。 ルカ5・11

① 太線に沿って切り取り。その前に自分の顔で絵をうすまきの中に書く。色を塗る。

② 絵ができたら太線に沿って切る。

③ 図のようにテープで糸をとめる。

④ 糸のはしを持って走りまわろう。
くるくるまわるはがで。



● ワークについて

糸を引くはめるのはイエス様。

私たちは従っていつはよいことを

覚えましょう。

